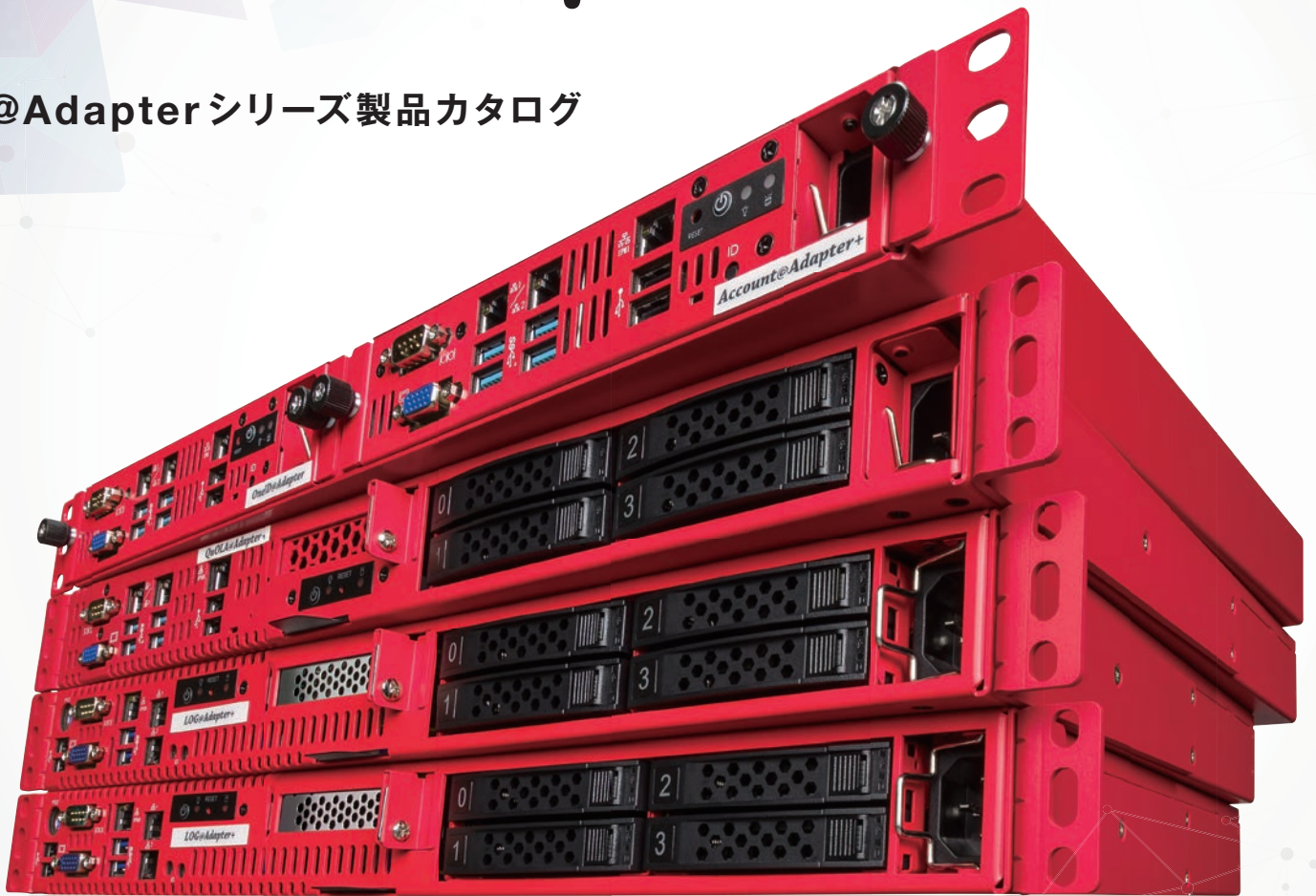


さまざまなシーンにフィットする

# Adapter

@Adapterシリーズ製品カタログ



## 製品ラインアップ

Account  Adapter v7  
アカウント アダプター プラス

QuOLA  Adapter  
クオラ アダプター

OneID  Adapter  
ワンアイディ アダプター

 Engine  
ブイアイ エンジン

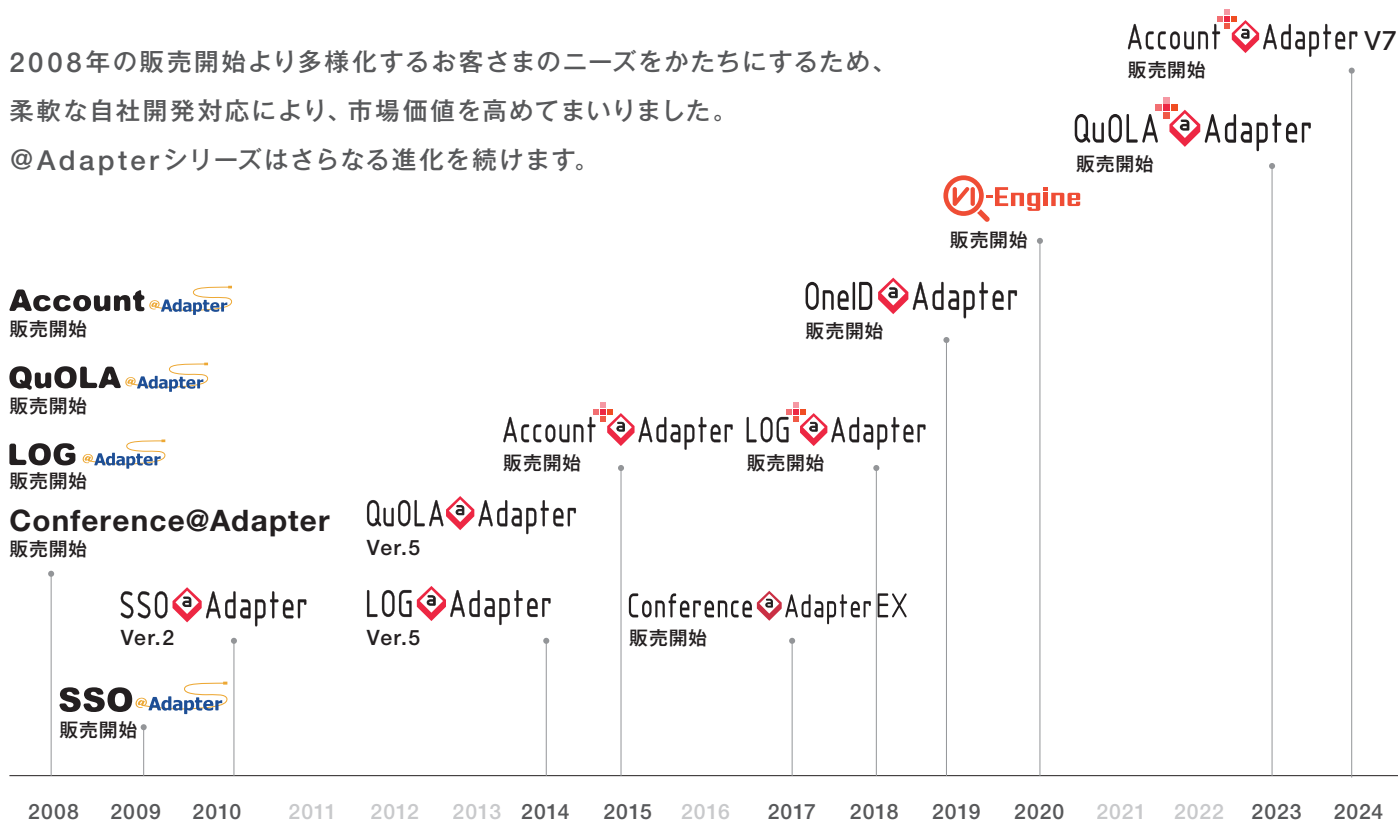
LOG  Adapter  
ログ アダプター プラス

SSO  Adapter  
エスエスオオ アダプター

# 進化し続ける Adapter シリーズ

2008年の販売開始より多様化するお客さまのニーズをかたちにするため、柔軟な自社開発対応により、市場価値を高めてまいりました。

@Adapterシリーズはさらなる進化を続けます。



認証・アカウント管理・DHCPアプライアンス

Account  Adapter v7

アカウント運用・管理アプライアンス

OnelD  Adapter

シングルサインオンソフトウェア

SSO  Adapter

ネットワークの不正利用防止  
デバイス/アカウント管理に



脆弱性管理クラウドサービス

IT資産の脆弱性対策に

 V-Engine



# お客さまの声

企業、文教、病院、研究所、自治体、官公庁など実績多数

本事例は各発行年月のインタビューレポートより抜粋しています

## 学校法人東北学院 様

堅牢なスイッチで安心稼働、  
トリプル認証対応アプライアンスとの  
連携で運用ニーズに応えた優れた  
ネットワークインフラを実現



学校法人 東北学院



写真提供：学校法人東北学院

2024年1月発行

## 株式会社中日新聞社 様

セキュリティと利便性を両立する  
シングルサインオン  
災害対策も考慮し  
ハイブリッドクラウド環境で導入

中日新聞社



2022年5月発行

## 医療法人社団善衆会 善衆会病院 様

電波が届きにくい構造の病院内へ  
無線LAN環境を構築  
セキュリティの確保と管理の簡略化を実現



医療法人社団善衆会  
善衆会病院



2019年6月発行

## 東北工業大学 様

不正通信端末の遮断を自動化し  
校内セキュリティを向上  
学生の利便性向上と管理工数削減を実現



TOHOKU INSTITUTE  
OF TECHNOLOGY

東北工業大学



2019年5月発行

## 国立大学法人 香川大学 様

Account@Adapter+で  
複雑な校内認証システムをリプレイス  
申請・管理の簡略化に成功



国立大学法人  
香川大学



2018年5月発行

## 国立研究開発法人 理化学研究所 様

Account@Adapter+で  
4拠点の認証サーバーを統合  
拠点内冗長化で、  
止めない認証システムを提供



2016年10月発行\*

\*弊社が日立電線ネットワークス時代に構築した導入事例です

導入事例はホームページからもご覧いただけます

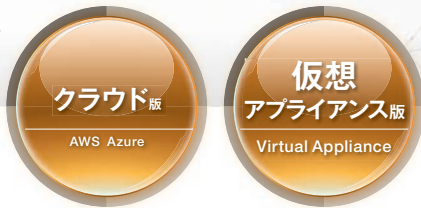
HCNET導入事例



# Account Adapter v7

アカウント管理を変える  
これからの認証アプライアンス

アカウント アダプター プラス



-   
**RADIUS**  
サーバー
-   
**LDAP/Active Directory**連携
-   
**認証局(CA)**
-   
**証明書**  
ダウンロード
-   
**ID/端末申請**  
ワークフロー
-   
**ゲストID**  
自動発行
-   
**MACアドレス**  
収集
-   
**DHCP**  
サーバー
-   
**Shibboleth**  
SP
-   
**UPKI**クライアント  
証明書配付
-   
**API**  
連携

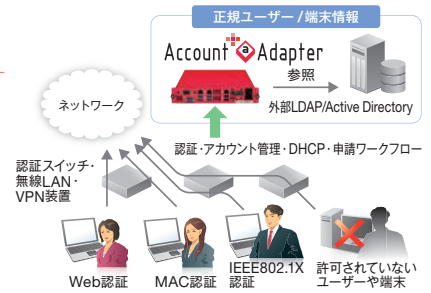
特徴 01

## ネットワーク認証で多様化する端末を安全に接続

### RADIUS/DHCP/プライベート認証局機能搭載

- さまざまな認証に対応(Web/MAC/IEEE802.1X認証)
- RADIUSクライアント数によらないライセンス体系
- 最大20万アカウントを登録可能
- 複数のアカウントデータベースに対応(内部データベース、Active Directory、LDAP)

セキュアなネットワーク環境  
正規ユーザー/端末のみ  
ネットワーク接続を許可



特徴 02

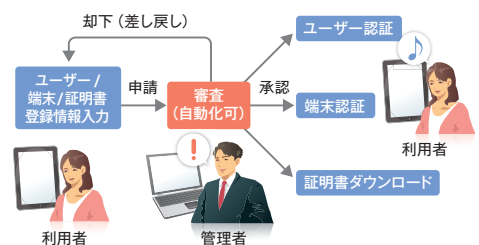
## 管理者と利用者の運用負担を軽減するユーザーツール

紙ベースからWeb申請に切り替え、  
管理者も利用者も負担軽減

### 利用者向けアカウント申請Webインターフェース

- 申請時の表示/入力項目は自由にカスタマイズ可能
- 申請時にMACアドレスなどの端末情報を自動入力
- アカウント申請の他、アカウント情報の編集や証明書のダウンロードにも対応
- 複数アカウントの一括申請・作成が可能(ID/パスワードは自動生成)
- 外部LDAP/Active Directoryを利用した申請に対応
- UPKIクライアント証明書を取り込み、利用者がダウンロード可能な環境を提供
- インポートツールが定期的にクライアント証明書の有効期限を監視

### ▼ 申請・承認ワークフローの概要



特徴 03

## 証明書発行・管理機能

### プライベート認証局

- プライベート認証局としてクライアント証明書やサーバー証明書を発行
- 外部LDAP/Active Directoryのアカウント情報をもとに証明書発行が可能
- 証明書と端末をひも付けて管理が可能
- ユーザーツールを利用して、利用者によるPCやモバイルの証明書申請・取得・更新が可能

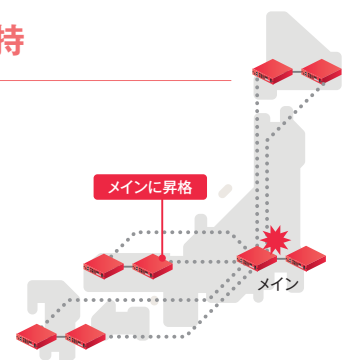


特徴 04

## 冗長構成サポート 認証・DHCPが利用可能な状態を保持

### 設定・アカウント情報同期、RADIUS/DHCP二重化

- RADIUS/DHCP混在環境で冗長構成可能
- RADIUSは最大20台、DHCPは最大10セット
- もしもの障害時にネットワーク利用ができなくなる状態を防止
- 複数の拠点に配置したAccount@Adapter+の設定はメインによる一元管理
- 災害などでメイン拠点が利用できなくなった場合も、他拠点のレプリカ機をメインに切り替え、一元管理を継続(※レプリカのままで認証やDHCPのサービスは継続利用可能)
- 1筐体(1グループ)の払い出しIPアドレス数は、最大5万IPまで可能。払い出し性能は最大500IP/毎秒

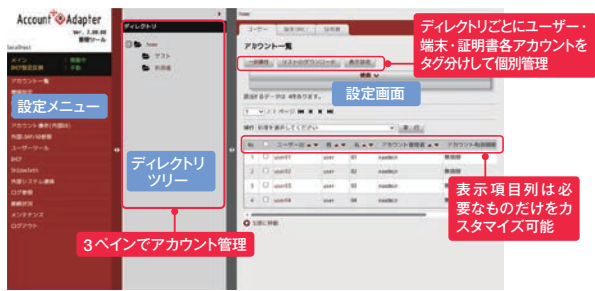


特徴  
05

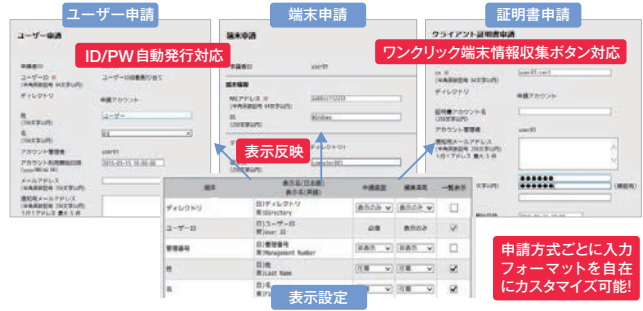
## 誰でも簡単に、導入・運用

### わかりやすく使いやすい日本語管理画面と利用者画面(ユーザーツール)

管理画面



利用者画面(ユーザーツール)



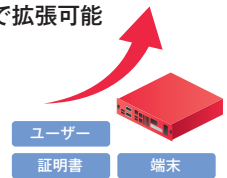
### アカウント棚卸し

- 有効期限が終了した、または長期未使用のアカウントを自動的に無効化/削除

ディレクトリA (端末用)	ディレクトリB (ゲスト用)	ディレクトリC (証明書用)																								
最終認証から半年後に無効化・1年後に削除	最終認証から1週間後に無効化&削除	最終認証から3カ月後に削除																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>最終認証日</th> <th>ステータス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今日</td> <td>利用可能</td> </tr> <tr> <td>半年後</td> <td>無効</td> </tr> <tr> <td>1年後</td> <td>削除</td> </tr> </tbody> </table>	最終認証日	ステータス	今日	利用可能	半年後	無効	1年後	削除	<table border="1"> <thead> <tr> <th>最終認証日</th> <th>ステータス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今日</td> <td>利用可能</td> </tr> <tr> <td>1週間後</td> <td>無効</td> </tr> <tr> <td>1週間後</td> <td>削除</td> </tr> </tbody> </table>	最終認証日	ステータス	今日	利用可能	1週間後	無効	1週間後	削除	<table border="1"> <thead> <tr> <th>最終認証日</th> <th>ステータス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今日</td> <td>利用可能</td> </tr> <tr> <td>1カ月後</td> <td>利用可能</td> </tr> <tr> <td>3カ月後</td> <td>削除(失効)</td> </tr> </tbody> </table>	最終認証日	ステータス	今日	利用可能	1カ月後	利用可能	3カ月後	削除(失効)
最終認証日	ステータス																									
今日	利用可能																									
半年後	無効																									
1年後	削除																									
最終認証日	ステータス																									
今日	利用可能																									
1週間後	無効																									
1週間後	削除																									
最終認証日	ステータス																									
今日	利用可能																									
1カ月後	利用可能																									
3カ月後	削除(失効)																									

1つの筐体で小規模~大規模環境に対応

- ライセンス入れ替えて同一筐体で20万アカウントまで拡張可能



### 定期バックアップ・リストア

- ローカルディスク/USBメモリ/外部サーバーに設定やアカウント情報の定期バックアップ
- 機器の障害時には、バックアップファイルを利用し素早く正常状態に復旧

特徴  
06

## 多様な証明書配付機能

### Windows端末向け証明書インポートツール

- 申請ワークフローである「ユーザーツール」と連動
- 証明書の格納先をあらかじめ管理者が指定可能なため、ユーザーの操作を簡略化
- 秘密鍵をエクスポート不可の状態にインポートすることで、他端末への証明書の流用を防止することができ、よりセキュアなクライアント証明書の運用が可能
- 現在よりも長い有効期限のクライアント証明書がサーバーにて発行済みとなった場合、自動で証明書をダウンロードしてインポート

ユーザーツール証明書管理画面



- ユーザーツール管理画面よりツールダウンロード可能
- Importボタンを押下すれば簡単にインポートが可能

### Microsoft Intuneと連携した証明書配付機能 ※アドバンス連携オプション必須

- Microsoft社のMDMシステム「Microsoft Intune」と連携
- Microsoft Intuneで管理しているデバイスに対してSCEPでクライアント証明書の配付が可能

## Account@Adapter+ V7の仕様

機能一覧

機能名	機能説明
ユーザー/端末/証明書アカウント管理機能	ユーザー/端末/証明書アカウントを管理する機能(作成、編集、一括インポート/エクスポート/証明書ダウンロード、MACアドレス自動取得、ユーザー/端末/証明書アカウント自動削除、パスワード有効切れフォロー通知メール)
認証機能(RADIUS)	認証スイッチなどからの認証要求に対して、認証結果を応答する機能(Web認証、MAC認証、IEEE802.1X認証EAP-MD5/TLS/TTLS/PEAP、ネットワーク属性管理、VSA設定、RADIUS Accounting、RADIUSプロキシ)
自己認証局機能(CA)	証明書を管理する機能(CA証明書ダウンロード、自己サーバー証明書発行、外部サーバー証明書発行、外部認証局証明書インポート、証明書発行/失効ログ出力、失効リスト公開、下位認証局)
ユーザーツール	ユーザー/端末/証明書アカウント登録申請/編集/削除ワークフロー、証明書更新、端末情報自動収集、ゲストID自動発行、アカウント削除通知、パスワード自動生成
冗長化機能	ユーザー/端末/証明書アカウント情報や認証機能を冗長化し、可用性を向上させる機能
外部LDAP/Active Directory参照機能 <sup>*1</sup>	外部のLDAPやActive Directoryのアカウント情報を参照して認証する機能
内部LDAP登録連携機能 <sup>*2</sup>	外部からLDAPプロトコルで内部アカウントの情報を改廃する機能(LDAPバインド)
Active Directory登録連携機能 <sup>*3</sup>	内部アカウントをActive Directoryへ登録する機能
Microsoft Intune連携機能 <sup>*3</sup>	Microsoft Entra IDおよびMicrosoft Intuneと連携して端末に証明書を配付する機能
DHCPサーバー機能 <sup>*4</sup>	DHCPサーバーとして稼働するための機能(IPアドレス払い出し、サブネット管理、端末管理、DHCPオプション管理、DHCP冗長化)
Shibboleth SP機能 <sup>*5</sup>	Account@Adapter+をShibboleth認証のスイッチ認証SPとして使用する機能 ユーザーツールのログインをShibboleth認証に対応する機能
UPKIクライアント証明書配付機能 <sup>*6</sup>	国立情報学研究所(NII)「UPKI電子証明書発行サービス」発行のクライアント証明書を、Account@Adapter+に取り込み、利用者ごとのダウンロードが実施可能となる機能
Web API連携機能 <sup>*2</sup>	Web APIによるアカウント改廃、証明書発行/失効/取得に対応

VA版 動作確認済み環境

仮想環境	VMware ESXi 6.5U3 6.7U3 7.0U3c 8.0 Nutanix AHV+Prism Central, Hyper-V	
CPU	仮想CPUをAccount@Adapter+に4個割り当て可能であること	
RAM	4GB	
HDD	60GB	

仮想環境	AWS対応版	Azure対応版
アーキテクチャ	X86_64	X86_64
インスタンスタイプ/サイズ	t2.medium, t3.medium (vCPU 2 コア/メモリ4GB)	Standard_B2s (vCPU 2 コア/メモリ4GB)
ストレージ	60GB/汎用SSD(gp2)	60GB

- \*1 200および500ライセンスは外部LDAP/Active Directory参照オプションが必要(2500ライセンス以上はバンドル)
- \*2 API/内部LDAP登録連携オプションが必要
- \*3 アドバンス連携オプションが必要
- \*4 DHCPオプションが必要
- \*5 SAML/Shibboleth SPオプションが必要
- \*6 UPKIクライアント証明書配付オプションが必要



# OneID Adapter

ワンアイデイ アダプター

中堅・中小企業向けシングルサインオンと  
アカウント運用・管理アプライアンス



クラウドサービス  
シングルサインオン



ユーザー  
プロビジョニング



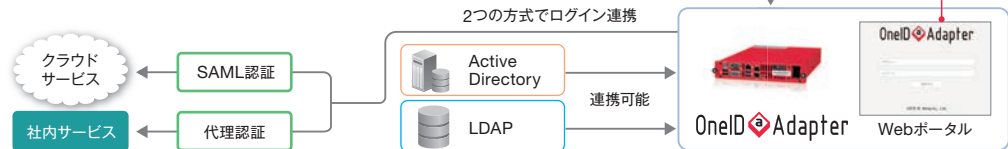
多要素認証



特徴  
01

## シングルサインオン機能で利用者の負担を軽減

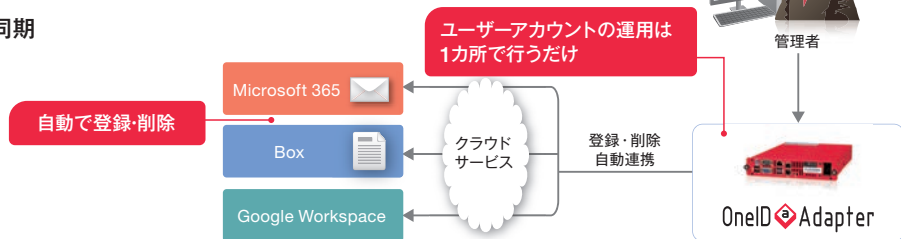
- 複数のWebサービスに1つのIDとパスワードでログイン可能
- OneID@AdapterのWebポータルにログインするだけで、  
連携クラウドサービスだけでなくオンプレミスサービスに対してもログイン可能
- 証明書/ソフトウェアOTP/FIDO2を使用した多要素認証でセキュリティ向上



特徴  
02

## ユーザープロビジョニング機能で管理者の負担を軽減

- 製品のアカウント情報をクラウドに同期
- OneID@Adapterの  
管理ポータルで操作を行うだけで、  
Microsoft 365/Box/  
Google Workspace  
ユーザーを自動的に登録・削除

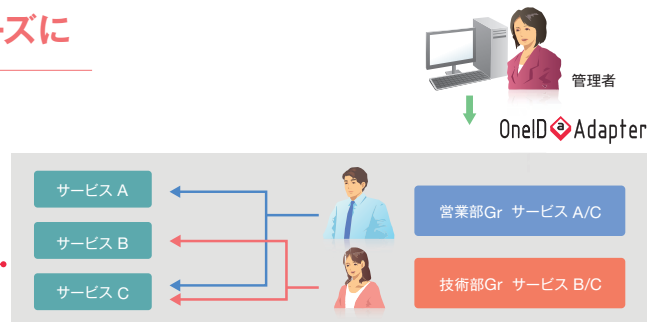


特徴  
03

## 使用するサービス割り当てをスムーズに

- 利用者グループごとに利用サービスを割り当て
- 利用者の外部LDAP/Active Directory登録属性情報をもとにサービス自動割り当て

グループ設定に応じて利用者へサービスを割り当て



### OneID@Adapter 仕様

● 機能一覧

機能名	機能説明
シングルサインオン	フェデレーション方式:SAML認証(SAML2.0対応) 代理認証方式:フォームベース認証に準拠したWebアプリケーション
ユーザープロビジョニング	Microsoft 365/Box/Google Workspaceへのユーザープロビジョニング
パスワードレス認証	FIDO2認証
多要素認証(MFA)	電子証明書認証(外部認証局発行) ソフトウェアOTP TOTP:Google Authenticator/FreeOTP Authenticator/Microsoft Authenticator HOTP:Google Authenticator
その他機能	グループに設定したサービスを、グループに割り当てたユーザーへ利用させる機能LDAP/Active Directoryからの同期ユーザー情報に、保有属性に応じてグループを自動で割り当てる機能/アクセス元IPアドレスの制限/学認(GakuNin)IdP機能

● VA版 動作確認済み環境

仮想環境	VMware ESXi 7.0U3o 8.0U2b, Nutanix AHV+Prism Central, Hyper-V	
CPU	仮想CPUをOneID@Adapterに4個割り当て可能なこと	
RAM	8GB	
ストレージ	120GB	
仮想環境	AWS対応版	Azure対応版
アーキテクチャ	X86_64	X86_64
インスタンスタイプ/サイズ	t3.xlarge (vCPU 4コア, メモリ16GB)	Standard D4ds v4 (vCPU 4コア, メモリ16GB)
ストレージ	426GB	426GB
	ログデータ保存容量	ログデータ保存容量
	340GB 汎用 SSD(gp2)	340GB



# IT資産の脆弱性対策をサポートするクラウドサービス

ブイアイ エンジン



脆弱性情報  
Top10



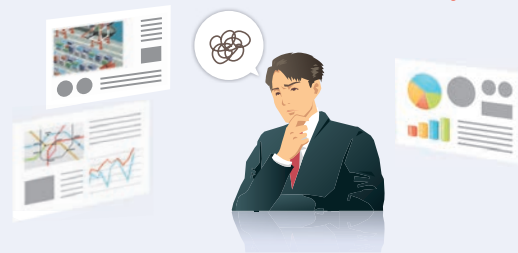
情報収集設定



マルチテナント

## IT資産の脆弱性情報収集にお困りのセキュリティ担当者に VI-Engine

- ✓ 自社のIT資産の脆弱性を把握したいが  
情報が多すぎて収集が手間
- ✓ 収集した情報のうちどれがすぐに対処すべきか  
優先度がわからない
- ✓ IT資産の脆弱性対策を行うための  
人手が足りない

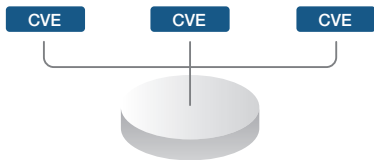


### 複数の情報源から脆弱性情報を自動で収集、IT資産の脆弱性対策をサポート

特徴  
01

#### 脆弱性情報の収集

- 指定したベンダー/プロダクトバージョンの情報収集を自動化
- CVE単位でエクスプロイトの有無を表示



特徴  
02

#### 危険度の高い脆弱性をランキングで表示

- CVSSのスコアが高いものや、エクスプロイトが有効なものをランキング表示

Top10	
1	CVE××××××××××
2	CVE××××××××××
3	CVE××××××××××
4	CVE××××××××××
5	CVE××××××××××
⋮	⋮
⋮	⋮
⋮	⋮



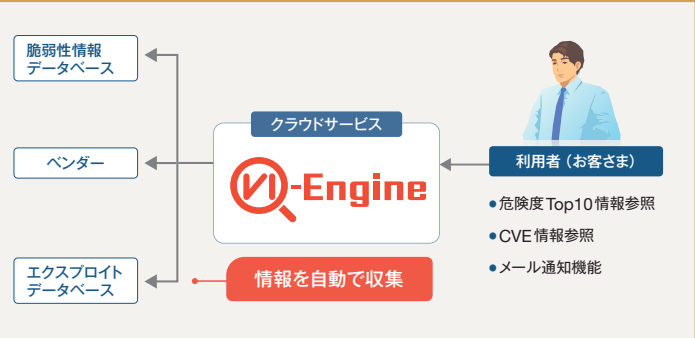
特徴  
03

#### 資産管理サービスに対し脆弱性情報を提供

- 弊社IT資産管理サービス「IT Asset コンシェル」で管理しているIT資産に関連するCVE情報を提供



#### サービス概要





# QuOLA Adapter

クオラ アダプタープラス

検疫で端末のセキュリティをチェック  
パッチ未適用端末を遮断できる  
検疫アプライアンス



非常駐  
エージェント



高速検疫



検疫  
シミュレーション



マルチOS



ポリシーチェック

Windows  
mac OS  
Linux  
Android  
iOS

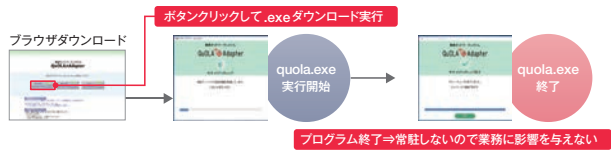
OS/セキュリティパッチ  
Microsoft Office/パッチ  
ウイルス対策ソフト  
アクションセンター  
Firewall  
Adobe/Javaバージョン  
禁止・必須ソフト/資産台帳

特徴  
01

## 持ち込みデバイスで動作する非常駐エージェント<sup>\*1</sup>

- 検疫実行ファイルをQuOLA@Adapter+からダウンロード<sup>\*2</sup>して実行するだけで検疫が可能
- 検疫に失敗した端末は遮断装置より上位への通信を遮断（治癒のため、一部宛先への通信は許可）
- NGガイドで治癒の方法を掲示可能

<sup>\*1</sup> Android/iOSはアプラインストールが必要 <sup>\*2</sup> iOSはAppStoreからのアプリダウンロード



特徴  
02

## 端末セキュリティの可視化

- 検疫項目ごとの検疫結果や認証ユーザー情報、端末情報も一元表示



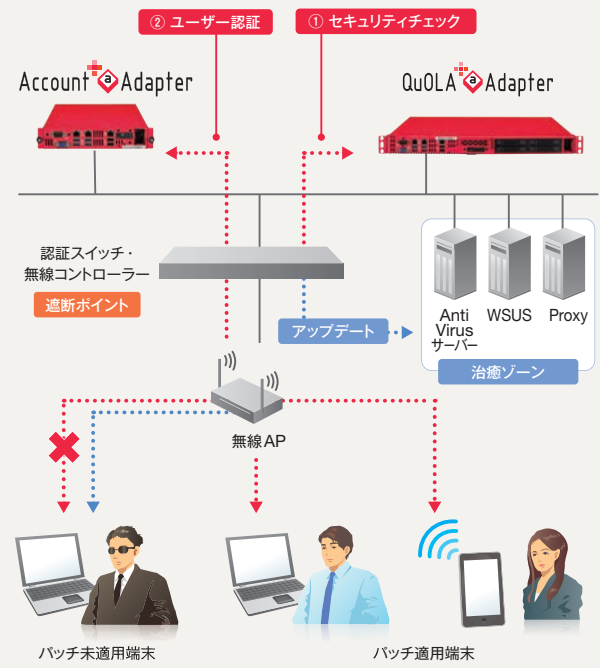
特徴  
03

## 常駐型検疫 (Windows OSのみ)

- QuOLA常駐クライアントが端末のIPアドレスをチェック、検疫対象ネットワークに接続したときに自動で検疫を実行
- 検疫結果がNGとなった場合にアクセスを許可するネットワークを制限可能



## 非常駐型検疫システムイメージ



### QuOLA@Adapter+ 仕様

主要な検疫項目	Windows	macOS	Linux	Android	iOS/iPadOS
OSバージョン	○	○			○
セキュリティパッチ	○	○			
ウイルス対策ソフト	○	○	○	○	
資産台帳		○	○	○	○
必須/禁止ソフト・アプリ	○	○*			○
アクションセンター	○				
Adobe/Java	○				
レジストリ	○				

\* 必須ソフトのみ対応

#### ● 連携動作確認済み遮断装置

APRESIA Systems株式会社	Apresia シリーズ (AccessDefender) ApresiaNP シリーズ (AccessDefender)
アラカサラネットワークス株式会社	レイヤー2 スイッチ (ボックス)、レイヤー3 スイッチ (ボックス)
Aruba, a Hewlett Packard Enterprise company	Aruba Mobility Controller シリーズ
富士通株式会社	Fujitsu Network IPCOM EX2シリーズ *
シスコシステムズ合同会社	Cisco WLC、Catalyst 9800*

\* カスタムスイッチ機能を使用

#### ● VA版 動作確認済み環境

仮想環境	VMware ESXi 7.0U1 8.0、Nutanix AHV+Prism Central
CPU	仮想CPUをQuOLA@Adapter+に4個割り当て可能なこと
RAM	16GB    HDD    300GB

#### ● クライアント端末環境

OS	Windows:10~11、macOS:10.12~14.0、Linux:CentOS7、Ubuntu18/20/22/23 Android:9~14、iOS/iPadOS:15~17
----	---

キャンパスネットワーク構築

## 学校法人 東北学院 様



写真提供：学校法人東北学院



学校法人 東北学院

### 学校法人 東北学院 様

1886(明治19)年、キリスト教伝道者養成を目的として開校した仙台神学校を起源とし、1949(昭和24)年に東北学院大学を設置、学校法人としては大学のほか高等学校、中学校、幼稚園を運営している。創立137年を迎える2023年には、新たなキャンパスを開学し、新学部・学科を設置。9学部15学科となった。学生数は学部1万1121名、大学院134名(2023年5月1日現在)。

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/>



- 信頼性に優れたスイッチと10年保守で安定稼働
- 申請ワークフローに対応した柔軟性の高いトリプル認証アプライアンス
- 限られた構築期間と半導体不足の中でもスムーズに構築



### 設置教育機関をつなぐ 東北学院総合ネットワーク 安定稼働と情報セキュリティを 重視して運用

「個人の尊厳の重視と人格の完成」の教育を建学の精神に持ち、「建学の精神」を象徴するスクールモットー「LIFE LIGHT LOVE」を掲げる学校法人東北学院。第二次大戦後の1949年に新制大学として設置された東北学院大学は、東北地方の私立大学の中でも最大の総合大学だ。2023年に新たな五橋キャンパスを設置し、仙台市中心部の都市型キャンパスとして運用を開始した。

学校法人東北学院は、東北学院大学のほか東



北学院中学校・高等学校、東北学院榴ヶ岡高等学校、東北学院幼稚園を運営しており、法人事務局を含むすべてを結んだ東北学院総合ネットワーク(以下、総合ネットワーク)は、学校法人全体の、教育・研究・学習および事務関連を支える重要なインフラだ。

この総合ネットワークや、その上で稼働する情報系システムを運営しているのが、東北学院大学情報システム部であり、総勢14名の職員が土壌キャンパスを主な拠点として活動している。

「私たちの管轄対象は、大学をはじめとする学校法人としての各種サービス、インフラ全体で、いずれも安定稼働と情報セキュリティを第一に考えています」と、情報システム部長の早坂友行氏は説明する。

### 導入製品

- 認証アプライアンスサーバー  
Account@Adapter-((VA)
- ログ収集・可視化アプライアンス  
LOG@Adapter-((
- ネットワークスイッチ ApresiaNP  
ApresiaNP7000-48X6L  
ApresiaNP2500-8MT4X-PoE  
ApresiaNP2100-24T4X
- ネットワーク管理ソフトウェア  
AN-ManagerStation



東北学院大学  
情報システム部  
部長  
早坂 友行氏



東北学院大学  
情報システム部 情報システム課  
課長  
鈴木 慶明氏



東北学院大学  
情報システム部 情報システム課  
課長補佐  
原田 淳氏



東北学院大学  
情報システム部 情報システム課  
係長  
大平 直志氏

## キャンパスネットワークとして APRESIAを10年運用 高信頼・大容量・高性能を目指し ApresiaNPを採用

総合ネットワークは5年ごとの更新計画で運用しており、2012年は、基幹ネットワーク機器および主要サーバー機器をデータセンターに集約化し、頑健性、冗長性、可用性、機密性を備えた情報通信基盤を確立した。また2018年は、都市型総合大学を目指してキャンパスの移転・集約が予定されていたことを受け、ムダを排除したシステム更新の実現方式を見出すことが課題となっていた。ネットワーク担当の一人、情報システム課課長補佐原田淳氏は、当時の心境を次のように語る。

「ムダを排除したシステム更新方法の1つが機器の継続利用ですが、そこで苦労したのは、継続機器に不具合が起きた時の利用者影響考慮でした。しかしながら、その中で比較的早く継続利用が決まったのは、高い信頼性を発揮していたネットワークスイッチAPRESIAです。APRESIAは2006年にエッジスイッチとして採用したのが最初ですが、6年間の運用で1台も故障することはありませんでした。また、2012年に導入したAPRESIAも故障することなく5年間安定稼働していたため、引き続き運用することにしました」

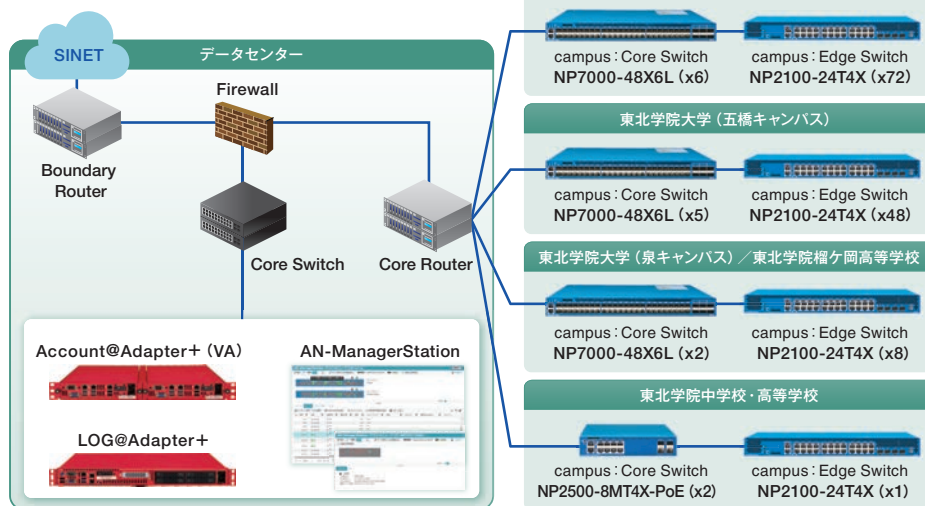
2023年の総合ネットワーク更新では、これまでの稼働実績を信頼しAPRESIAの新シリーズであるApresiaNPを10年保守で採用。また、これまで他社製品を稼働していた各キャンパスの拠点コアスイッチも、ApresiaNPで実現した。

「10年保守サポートしてくれるメーカーは多くありません。APRESIAの高い信頼性あってこそなのでしょう。私たちも長期安定稼働を期待して導入しました」と、情報システム課長の鈴木慶明氏は語る。

## トリプル認証で多様な利用形態にも柔軟に対応 認証システムとの連携で 認証トラブル運用負担を軽減

そもそも、東北学院がAPRESIAを採用したのは、優れたネットワーク認証機能を評価してのことだ。もう一人のネットワーク担当、情報システム課係長の大平直志氏は「多くの利用者がアクセスする総合ネットワークではセキュリティとユーザビリティの両立が求められますが、トリプル認証に対応したAPRESIAであれば利用状況に応じたネットワークを必要最低限で構築できます。さらに、親和性が高いエイチ・シー・ネットワークスのAccount@Adapter+とLOG@Adapter+を連携させることにより、ト

## 東北学院総合ネットワーク



ラブルが発生した端末情報からドリルダウン調査が簡単にできます。運用負荷も改善されバランスが良い認証システムになりました」と2018年当時を振り返る。

また、「Account@Adapter+は、Web認証・MACアドレス認証、そしてIEEE802.1X認証に対応したアカウント管理だけでなく、接続申請を受け付ける申請ワークフローを定義することができ、サービス提供から認証までをオールインワンで実現できるのが気に入っています。2023年更新においても同じ構成で実現しましたが、バージョンアップ時の保守性の観点から今回は仮想アプライアンスを選択しました。運用方法に応じて、物理アプライアンスと仮想アプライアンスを選択できるのも評価ポイントです」(原田氏)

## 死活監視では終わらない ネットワーク管理ソフトの 実力に期待

総合ネットワークでは、これまで他社製品のネットワーク管理システム(NMS)と、APRESIAを一括操作するHCLManager StationとCommand Navigatorを利用していたが、2023年更新を機にAN-ManagerStationをNMSとして本格的に利用開始した。その経緯を次のように語る。

「当初、これまで同様にNMSとApresiaNP操作ソフトの2構成で考えていました。しかしながら、AN-ManagerStationがマルチベンダー機器を管理できNMSとして使い勝手が良いこと、任意のCLIコマンドを抽象化したシナリオとした運用ができること、タグ管理でグルーピングができることといった運用者が欲しい機能がそろっていたため、AN-ManagerStationをNMSに選択しました。

また無償版が公開されており、事前に機能検証ができたことも大いに役立ちました」(大平氏)

## 半導体不足の中でも遅延なく構築 さらなるセキュリティ向上を目指して

2020年秋以降から騒がれ始めた世界的な半導体不足。納期遅延や調達可能な機器へ製品変更といったことに見舞われたが、エイチ・シー・ネットワークスは、流動的に発生する課題に対して迅速に対処。2022年12月からの五橋キャンパス有線接続、2023年4月からの五橋キャンパス無線接続、2023年10月の設置教育機関すべての更新を完遂するための一翼を担った。更新後も総合ネットワークは安定稼働しているという。最後に、早坂氏は今後さらなるセキュリティ向上を図っていきたいと語る。

「今後は多要素認証機能を持つIDaaSなどと、ネットワーク認証を連携させることも視野に入れています。そういった取り組みは、安定して稼働し続けてくれるインフラ、ネットワークがあってこそのもので。エイチ・シー・ネットワークスには、今後も長期安定稼働や、セキュリティ向上への取り組みを期待しています」(早坂氏)



左より 大平氏 早坂氏 鈴木氏 原田氏

# 希望小売価格(税抜き)

## Account Adapter v7

アカウント アダプター プラス

ライセンス数 <sup>*1</sup> およびオプション	導入(初年度ライセンス、サポート込み)		次年度以降ライセンス、サポート(年額)
	アプライアンス版 <sup>*2</sup>	仮想アプライアンス版/クラウド版 <sup>*3</sup>	アプライアンス/仮想/クラウド
200ライセンス	¥800,000	¥600,000	¥80,000
500ライセンス	¥1,200,000	¥1,000,000	¥150,000
2,500ライセンス	¥1,800,000	¥1,600,000	¥360,000
5,000ライセンス	¥2,300,000	¥2,100,000	¥510,000
10,000ライセンス	¥2,900,000	¥2,700,000	¥640,000
50,000ライセンス	¥3,500,000	¥3,300,000	¥770,000
200,000ライセンス	¥5,000,000	¥4,800,000	¥1,100,000
DHCP専用ライセンス	¥1,100,000	¥900,000	¥80,000
外部LDAP/Active Directory参照 オプション(2500ライセンス以上はバンドル)	¥600,000		—
DHCPオプション	¥600,000		—
API/内部LDAP登録連携オプション	¥600,000		—
アドバンス連携オプション	¥600,000		—
SAML/Shibboleth SPオプション	¥600,000		—
UPKIクライアント証明書配付オプション	¥600,000		—

\*1 ライセンス数は、Account@Adapter+に登録を行うアカウント総数分の購入が必要 \*2 アプライアンス版のハードウェア保守は別途必要 \*3 Amazon Web ServicesのEC2・Azureに対応

## QuOLA Adapter

クオラ アダプター プラス

ライセンス数 <sup>*4</sup> およびサービス	導入(初年度ライセンス、サポート込み)			次年度以降ライセンス、サポート(年額)	
	アプライアンス版 <sup>*5</sup>		仮想アプライアンス版	アプライアンス版プライマリー /仮想アプライアンス版	アプライアンス版 セカンダリー
プライマリー	セカンダリー				
100ライセンス	¥2,500,000	¥1,250,000	¥2,500,000	¥750,000	¥375,000
500ライセンス	¥3,500,000	¥1,750,000	¥3,500,000	¥1,050,000	¥525,000
1,000ライセンス	¥4,500,000	¥2,250,000	¥4,500,000	¥1,350,000	¥675,000
2,000ライセンス	¥7,000,000	¥3,500,000	¥7,000,000	¥2,100,000	¥1,050,000
3,000ライセンス	¥9,000,000	¥4,500,000	¥9,000,000	¥2,700,000	¥1,350,000
4,000ライセンス	¥10,000,000	¥5,000,000	¥10,000,000	¥3,000,000	¥1,500,000
5,000ライセンス	¥11,000,000	¥5,500,000	¥11,000,000	¥3,300,000	¥1,650,000
10,000ライセンス	¥15,000,000	¥7,500,000	¥15,000,000	¥4,500,000	¥2,250,000
20,000ライセンス	¥20,000,000	¥10,000,000	¥20,000,000	¥6,000,000	¥3,000,000
セキュリティ情報配信サービス			¥840,000/年		

\*4 ライセンス数は、QuOLA@Adapter+で1日に検疫する端末台数分の購入が必要 \*5 アプライアンス版のハードウェア保守は別途必要

## LOG Adapter

ログ アダプター プラス

モデルおよびサービス	導入 (初年度ライセンス、サポート込み)	次年度以降 ライセンス、サポート(年額)
アプライアンス版 <sup>*6</sup>	実効容量 446GB	¥1,500,000
	実効容量 1,788GB	¥5,000,000
参照専用 アプライアンス版 <sup>*6*</sup>	実効容量 446GB	¥900,000
	実効容量 1,788GB	¥3,000,000
仮想アプライアンス版	実効容量 426GB	¥1,500,000
参照専用 仮想アプライアンス版 <sup>*7</sup>	実効容量 426GB	¥900,000
端末遮断オプション	¥600,000	—

\*6 アプライアンス版のハードウェア保守は別途必要 \*7 参照専用単体では使用不可

## OneID Adapter

ワンアイディ アダプター

ライセンス数 <sup>*8</sup> およびサービス	アプライアンス版 <sup>*9</sup> /仮想アプライアンス版/クラウド版共通 <sup>*10</sup>
200ライセンス	オープン価格
500ライセンス	
2,500ライセンス	
200,000ライセンス	

\*8 ライセンス数は、OneID@Adapterに登録を行うアカウント総数分の購入が必要 \*9 アプライアンス版のハードウェア保守は別途必要  
\*10 Amazon Web ServicesのEC2・Azureに対応



ファイブ エンジン

サブスクリプション ¥840,000  
(年額)

## SSO Adapter

エスエスオオ アダプター

オープン価格

Account@Adapter、QuOLA@Adapter、LOG@Adapter、SSO@Adapter、OneID@Adapter、@Adapter、VI-Engineおよびそのロゴは、エイチ・シー・ネットワークス株式会社の登録商標です。  
Amazon Web Services、AWS、EC2は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。記載の製品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

記載内容(希望小売価格、仕様など)は、改良のため予告なしに変更する場合があります。

記載の製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

## エイチ・シー・ネットワークス株式会社

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-22-16 ヒューリック浅草橋ビル5F

お問い合わせ <https://www.hcnet.co.jp/inquiry/>

<https://www.hcnet.co.jp/>